

2012年2月26日

氷見市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 氷見市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

氷見市議会議員の皆さん、どうか全力で堂故市長を支えてください。そして、堂故市長と貴市議会とが一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、電力事業者との間で結ぶ「安全協定」では、貴市の「事前同意権」及び「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へのアクセス権」を明記することに合意させることが、肝要です。

氷見市議会議員の皆さん、どうか堂故市長を支えて、勇気をもって内実を伴った「安全協定」の締結に向けて、前へ進んでください。

2012年2月26日

小矢部市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

小矢部市議会議員の皆さん、どうか、小矢部市長と貴市議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、貴市と電力事業者との間で「安全協定」を結ぶことへ踏み出してください。その「安全協定」には、「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へアクセスする権利」を貴市がもてるよう明記することに合意させることが、肝要です。

小矢部市議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって「安全協定」締結へ向けて前へ進んでください。

2012年2月26日

砺波市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

砺波市議会議員の皆さん、どうか、砺波市長と貴市議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、貴市と電力事業者との間で「安全協定」を結ぶことへ踏み出してください。その「安全協定」には、「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へアクセスする権利」を貴市がもてるよう明記することに合意させることが、肝要です。

砺波市議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって「安全協定」締結へ向けて前へ進んでください。

2012年2月26日

南砺市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

南砺市議会議員の皆さん、どうか、南砺市長と貴市議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、貴市と電力事業者との間で「安全協定」を結ぶことへ踏み出してください。その「安全協定」には、「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へアクセスする権利」を貴市がもてるよう明記することに合意させることが、肝要です。

南砺市議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって「安全協定」締結へ向けて前へ進んでください。

2012年2月26日

高岡市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

高岡市議会議員の皆さん、どうか、高岡市長と貴市議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、貴市と電力事業者との間で「安全協定」を結ぶことへ踏み出してください。その「安全協定」には、「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へアクセスする権利」を貴市がもてるよう明記することに合意させることが、肝要です。

高岡市議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって「安全協定」締結へ向けて前へ進んでください。

2012年2月26日

射水市議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 市議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

射水市議会議員の皆さん、どうか、射水市長と貴市議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、貴市と電力事業者との間で「安全協定」を結ぶことへ踏み出してください。その「安全協定」には、「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へアクセスする権利」を貴市がもてるよう明記することに合意させることが、肝要です。

射水市議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって「安全協定」締結へ向けて前へ進んでください。

2012年2月26日

県議会議員各位

越境する原子力災害対策／原子力
規制行政を求める住民ネット・富山

代表 埴野 謙二

TEL 076-441-7843

FAX 076-444-6093

3月議会を迎えるにあたって 県議会議員の皆さんへのアピール

「3・11」から、まもなく1年がたとうとしています。

すでにご承知のように、各地の地域自治体が原発の問題にどう向き合うかが、この列島上の原発をどうするか
の焦点にせり上がってきています。

あらためて言うまでもなく、そのポイントは、地域自治体が住民の「安心・安全」のために、「地域防災計画」の修正の中に、「原子力災害対策」をどのように盛り込むのか——とりわけ、電力事業者との「安全協定」をどうするのか、にあります。

その意味で、私・たちは、この間、県の「防災会議」の論議の行方に、不安を感じながらも、重大な関心をもって、注目してきました。その論議によって、今後の県／県内自治体の「計画」がどのように修正されるのかが、方向づけられるからです。

私・たちは、去る2月21日の「防災会議」も傍聴していましたが、「安全協定」にかかわる堂故氷見市長の発言は、私・たちのこの間の関心に応え、不安を払拭し、私・たち県民に勇気を与えてくれました。

堂故氷見市長は、同「会議」の「専門家」委員の発言、さらには、石井県知事の発言を越えて、住民の「安全・安心」に対する地域自治体の責任についての深い自覚に立って、富山県全域にとって有意義な、勇気ある発言をされました。私・たちは、この発言を導きの糸として、県／県内自治体が、「地域防災計画」の修正に進むことを、強く願っています。

県議会議員の皆さん、どうか、石井県知事を促し、知事と県議会が一体となって、住民の「安全・安心」のために、地域の風土と文化を守り、発展させるために、「地域防災計画」の修正に向けて、力を込めて取り組んでください。

とりわけ、県と電力事業者との間で結ぶ「安全協定」には、県の「事前同意権」及び「避難を判断する際に誰でも利用可能な『生データ』へのアクセス権」を明記することに同意させることが、肝要です。

県議会議員の皆さん、どうか、勇気をもって、県が事業者と内実を伴った「安全協定」を締結することへ向けて、前へ進んでください。